

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和57年11月2日 第29報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira granulata</i>	200		
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Melosira distans</i>	240		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	360	○	
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(み) <i>Euglena</i> sp.	20		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	320		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	40		○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	960	42.5	14.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	8.0	6.4
(み) みどり虫藻綱	20	0.9	4.1
(緑) 緑藻綱	1100	48.7	75.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2260	総体積	4.77E+06
種類数	13	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Nitzschia holsatica</i>	360

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Nitzschia holsatica
(ササノハケイソウ)
珪藻綱

*Synedra berolinensis*に似るが、処理して構造を見ると、龍骨点があることがわかる。